



NPO法人 災害救助犬ネットワーク  
DISASTER RESCUE DOG NETWORK

# 災害救助犬・認定審査規定

2024年9月改訂

2025年4月施行

NPO法人 災害救助犬ネットワーク  
認定審査部・訓練育成部

## ■ 捜索犬認定審査・受験資格試験規定

DRDNでは実働を目指す認定制度に一本化します。現場における捜索作業での犬の服従性、捜索作業の信頼性を担保するためには平時の訓練で練度を高めながら着実に成長させて行くことが重要だと考えています。平時の状態、練度の確認として認定審査を受験する資格として位置づけています。様々な環境の中で必要とされる場面での適切な対応、作業ができるか、という実働に貢献できる犬を輩出するためのDRDN捜索犬認定審査に臨むための必要な機会であります。(広報活動における能力も含む)

欧米で初期段階の訓練試験として普及しているBH(ベー・ハー: Begleit hund prüfung)は、市街地や公共の場において犬を伴って行動する際に、安全で人に迷惑をかけないように訓練されているかという社会性を見るために行われています。

受験資格試験の基準は、この趣旨に加えて捜索犬としての基本作業資質や現場で想定される場面での練度、状態を訓練会において評価します。IGP、FCI、IROなどでも取り入れられ細かな規定が定められていますが、DRDNにおいては、そのような科目規定は設けず、平時に行っている基本的な作業のなかで、その練度状態を下記の視点で判断します。

### ■ 審査項目並びに作業基準(決められた形式ではなく実働対応できているかという視点)

- ① 平時の訓練会において最低限必要な作業指示に対応して安定的に行えているか。
- ② さまざまな環境、捜索場面での環境馴致はできているか。
- ③ 見えない要救助者を見逃さず反応を示し告知に至れるか。
- ④ 捜索⇒待機⇒捜索と云った意識の切り替えや臨機応変な状況に対処できているか。
- ⑤ 要救助者への執着、作業意識の持続性はあるか。
- ⑥ 様々な環境における作業でも犬のコントロールができているか。
- ⑦ 犬を伴って現場、作業に向かう時の行動、態度がペアとして安定したものであるか。
- ⑧ 犬を伴って移動中、指定された場所に待機させてハンドラーが離れても犬は指示通りに対応でき落ち着いているか。
- ⑨ ハンドラーが見えない状態でも犬は落ち着いて待機できているか。
- ⑩ 犬と離れている状態でもハンドラーの指示に従えるか。

上記の評価は通常の捜索訓練として行う。作業方法、順序、場所で行うかは現況を踏まえた上で審査員が決め、指示者が捜索作業の指示を出し。受験者は指示に従って作業する。なお受験者が同一作業となることはない。各作業は訓練会で行っている範囲で行う。

■ 出陳料: 2,000円(定期訓練会等で申込)

■ 出陳資格: 犬適正試験、サポーター試験に合格していること。

■ 合否: 2名の審査員が共に各項目で70%以上の評価であること。終了後に講評。

■ 有効期間: 2年間、但し捜索認定犬は資格ありとみなす。



---

## ■ 搜索犬審査規定

搜索犬の審査は災害現場や実働しているイメージで行うようになっており、申告後の作業の開始からの連絡、報告、指示は審査員ではなく本部とやり取りする。各審査員はその対応も含め犬と指導手の評価をする。

搜索作業は、雑木林・山野・倒壊家屋・瓦礫、土砂現場等々などを想定し、その都度定める。搜索作業範囲は審査員が策定し、注意点等は当日に発表する。各審査項目(審査表)は予め公開する。

---

1. 服従作業自体は行わないが、搜索時間内の作業はすべて服従性に関して審査対象。
2. 服従性の確認のため審査員の指示がある場合にはその指示に従う。
3. ヘルパー数は、設定会場により限定しない。
4. 搜索時間は各 10 分以上とする。
5. 会場、作業は 2ヶ所以上とする。
6. それぞれの作業後には休憩時間を設ける。
7. 開始は審査員の指示により、犬を脚側停座させ、審査員にゼッケン番号、犬名、指導手名、発見時の告知方法(バークアラート等)を申告する。
8. 設定会場により異なるが搜索作業の開始、出発地点は、指導手が決定し申告後は速やかに、出発点に紐付きで移動して搜索準備、作業に入る。
9. 搜索時間のカウントは指導手が本部に開始の一報を入れた時点からスタートする。
10. 搜索作業を開始する際は、原則として犬の紐、首輪は外さなければならないが、搜索現場によっては必要である事を指導手が判断した上で紐付き作業を行うことは、その限りではない。また、申告時から首輪は締まらないように装着しておかなければならない。
11. 犬が告知した場合、または反応を示した場合、審査員ではなく、本部に一報を入れ、その状況を報告する。
12. 審査員は、犬・指導手の判断、行動を審査の対象とするが、作業に関する指示はしない。
13. 作業指示は本部が行うが、重複、齟齬が生じた場合は審査員の指示を優先する。



NPO法人災害救助犬ネットワーク  
DISASTER RESCUE DOG NETWORK

14. 捜索作業中の犬への報酬としてのボールやトリーツ、水分の使用は認める。
15. 立ち入り禁止区域(表示)には指導手は入ることはできない。
16. 捜索作業の残り時間及び作業終了等の指示は無線にて行う。
17. 捜索中、審査員が著しい作業意識の低下やコントロール不可と判断した場合は時間内でも審査は中止される。
18. 審査員は2名とし、それぞれの審査簿に沿って評価する。  
各審査員ともに各審査項目が70%点以上で合格とする。
19. 審査の合否は、審査終了後に総評と共に5段階評価で指導手に講評される。  
合格評価は、V(95.5～)、SG(95～90)、G(89.5～80)、B(79.5～70)で伝え、不合格は、  
評価M(～69.5)とされる。
20. 出陳資格:捜索犬認定審査・受験資格試験に合格していること。
21. 不合格の場合は認定受験資格試験の再受験からとなる。
22. 有効期限:2年間。但し認定期間中に出陳して不合格なった場合は現認定は消滅する。
23. 出陳料:3,000円

以上

---

### 【禁止及び注意事項】

審査員は、指導手が以下の行為を行ったと認められた場合は、作業を中断もしくは中止させ失格とすることができる。

1. 体罰
  2. 犬の健康面に異常があると認められた場合
  3. 伸縮リードの使用
  4. 首輪によるショックを入れる行為と申告の際の首輪を絞まる状態での装着
  5. 作業中に逸走等の著しくコントロールが不能と判断された場合
  6. 人や犬に対しての適性にそぐわない行動や反応が見られた場合
  7. その他審査員が不適切と判断すること。
-